

Deutsches Institut für Japanstudien  
ドイツ-日本研究所

# DIJ フォーラム

日時： 2008年1月24日（木） 18:30 ~  
場所： ドイツ-日本研究所

## 日本のテレビ CM における外国要素の役割

The role of foreign elements in Japanese television commercials

萩原 滋 （慶應義塾大学教授）

Shigeru Hagiwara (Professor, Keio University, Tokyo)

日本のテレビ CM には、外国ロケをしたり、外国人を起用したり、外国語を使用するなど外国イメージが広範に利用されていることが知られている。とりわけ西洋イメージへの依存度が高くなっているが、それはどのような業種の CM で、どのような形で使用されることが多いのか。東京の民放キー局のテレビ CM の内容分析に基づいて、各種の外国要素の使用パターンを明らかにし、日本人の対外意識との関連性について考察する。

### 講演者紹介

慶應義塾大学メディア・コミュニケーション研究所教授、文学博士。

社会心理学の立場からテレビを中心とするマス・メディアの社会的影響に関する研究を行っている。

最近の著作に『変容するメディアとニュース報道—テレビニュースの社会心理学』（編著、2001年、丸善）、『テレビと外国イメージ—メディア・ステレオタイプング研究』（共編著、2004年、勁草書房）、『テレビニュースの世界像—外国関連報道が構築するリアリティ』（編著、2007年、勁草書房）がある。

講演は日本語で行われます。

参加ご希望の方は FAX: 3222-5420 または e-mail: asano@dijtokyo.org にてお申し込みください。（参加費無料）

ドイツ-日本研究所

102-0094 東京都千代田区紀尾井町上智紀尾井坂ビル 2階 Tel: 03-3222-5077